

2017年9月5日

在日米海軍厚木航空施設司令官
ロイド・B・マック 大佐 様

厚木基地爆音防止期成同盟
委員長 石郷岡 忠男

厚木基地爆音訴訟団
第四次訴訟団団長 金子豊貴男
第五次訴訟団団長 大波 修二

原子力空母の母港化に反対し基地のない
神奈川をめざす県央共闘会議
共同代表 高久 保

神奈川平和運動センター
代表 福田 護

**空母艦載機の訓練、とりわけ FCLP に抗議し、その飛行を中止すること、
また MV22 オスプレイの飛行中止を求める申し入れ書**

あらたに着任された司令官に、このような抗議文をお送りすることを、たいへん残念に思います。

わたし達は、厚木基地周辺に住み、あるいは職場を持つ市民が、基地の被害を解消し、戦争のない平和な社会をめざして結成している団体です。

基地周辺に住むわたし達は、日夜、基地からの騒音に苦しんでいます。とりわけ、空母が横須賀に入港している期間、空母艦載機が厚木基地を離着陸する爆音に悩まされています。

わたし達は、その爆音の被害をなくし、軍用機の飛行を差し止めるための裁判を41年前に起こし、それ以来途絶えることなく、その爆音の違法性を訴え続けています。この8月4日も第五次厚木基地爆音訴訟を横浜地裁に提訴しました。

裁判所の判決は、厚木基地の爆音は違法なもので住民の健康被害につながるとして、一貫して損害賠償を認めてきました。そのことは、貴官もご承知のことと思います。だからこそ、着任式典後の会見でも「騒音の軽減に全力で取り組んでいく。」とお答えになっているのでしょ

ところが、今回、空母艦載機が飛来した8月7日以降、わたし達はまたも激しい爆音に苦しめられています。8月29日、30日には、複数機でタッチアンドゴーが行われていることも目撃していました。これだけでも、すでに怒りは頂点に達しているのですが、9月1日に、突然、厚木基地での FCLP 通告があり、その日の午後に、実際に訓練が開始されました。

FCLP については、その爆音があまりにも激しく住民に与える被害も大きいとして、1993年から硫黄島に基地を提供し、そこで訓練をする取り決めになっています。その後の2012年の5月に3日間、厚木基地で FCLP を行ったことがありましたが、その際、

神奈川県はじめ周辺の自治体、市民より激しい非難を浴び、時の広報部長が「遺憾に思う」というコメントを出さざるを得なかったのです。

FCLP の突然の通告と実施の理由として、硫黄島の荒天、及び緊急性をあげておられますが、9月に空母が出港することは当初から予定されていたことでしょう。この間の第7艦隊艦船の事故も影響していると思われませんが、こちらから言えば、軍の事情のみを優先し、住民の被害を無視した行動としか思えません。これまでも硫黄島での訓練期間を延長したり、再度硫黄島で行うなどして、厚木基地での訓練を避ける努力が行われてきました。今回もそれができないはずはありません。

テレビの音も聞こえない、対面での会話すら通じない、病人は安静を妨げられ、子どもは勉強に集中できず、怖がって耳をふさいでいる。

このような苦情が地元市役所に寄せられています。その数は1日と2日で289件のぼったということです。周辺市、県庁なども併せると500件を優に上回るでしょう。県知事、地元首長も司令官に中止を申し立てています。東京都知事も防衛省に対して中止を求めています。

このような住宅密集地での訓練は、本国では許可されないはずですが。歴任された司令官は「よき隣人でありたい」ということをたびたび口にしました。しかし、内心では、わたし達住民を、同じ人間と認めていないのだと思わざるを得ません。貴官の「騒音の軽減に全力で取り組んでいく」という約束は早くも、口先だけの空手形だということが露わになってしまったということです。

わたし達の願いは、爆音のない静かな生活です。その実現のために、米軍機の飛行を止めることを求めます。FCLP—離着陸訓練をすぐに中止することを求めます。

また、重大事故が頻発し機体の安全性に不安のあるオスプレイの飛行を止め、その配備を取りやめるよう米海軍、海兵隊に進言するように求めます。

9月10日に、オスプレイが6機、東富士に訓練のため飛来するという情報が発信されていますが、とんでもないことです。オーストラリアでの事故後に、何事もなかったかのように飛行を再開していますが、機体に不安のあることはすでに共通の認識になっています。つい先日8月29日にも、大分空港に緊急着陸をしています。しかも、この機体は直前に岩国で白煙を上げ、6月には伊江島で緊急着陸をしています。これが「安全を確認できた」ということの内実なのではないでしょうか。米軍の発表を信用する人間は誰もいなくなるでしょう。

ご承知のように、この狭い日本の中、どこに行っても人が住んでいます。そのようなところに基地は置いておけないことはおわかりですね。そのことを現地の指揮官として在日米軍、および本国の上層部に伝えてください。その時こそ、「真のよき隣人」として貴官を迎えることができるでしょう。

申し入れ項目を再掲します。

- 1 空母艦載機の訓練を今すぐ中止すること、とりわけ今回通告された FCLP をすぐに中止すること。また、今後、硫黄島以外での FCLP を決して行わないこと。
- 2 9月10日、11日の東富士でのオスプレイの離着陸訓練を取りやめるよう米海兵隊司令部に進言すること。
- 3 オスプレイのすべての飛行を中止し、配備されたオスプレイを本国に撤去するようベトナムに進言すること。